

## 第4学年 国語科学習指導案

日・時 令和7年11月19日(水) 6校時

児 童 4年1組 19名

授業者 加藤 真紀

1 単元名 きょうみをもったことを中心に、しょうかいしよう

2 学習材名 「風船でうちゅうへ」(光村図書4年下)

3 単元の見標

(1) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。

[知識及び技能] (2)ア

(2) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。[思考力、判断力、表現力等] C(1)オ

(3) 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。

[思考力、判断力、表現力等] C(1)カ

(4) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。

「学びに向かう力、人間性等」

4 単元について

(1) 子どもの実態

子ども達は、これまでに説明文「アップとルーズで伝える」で、筆者の考えとそれを支える理由や事例との関係について理解し、感想や考えを伝え合う学習に取り組んだ。また「未来につなぐ工芸品」では、段落相互の関係を捉えながら、中心となる語や文を読み取り、筆者の考えとそれを支える理由を中心に要約し、リーフレットを作成する学習に取り組んできた。これまでの学習を通して、共有においては、一人一人の感じ方に違いがあることに気付くことができるようになってきている。しかし、感じたことや考えたことを相手に伝えたり、文章に書き表したりすることを苦手としている子どももいる。

(2) 学習材について

本教材は、「話題提示」「説明」「筆者の主張」の尾括型の文章構成となっている。筆者が「宇宙へ行く物を自作したい」という不可能だと思われるような目標に対して、何度も試行錯誤を重ね、創意工夫しながら実現していく過程が説明されている文章である。読み手の興味に応じた様々な読み取り方が可能であり、自分が興味をもった内容を要約し、紹介文を読み合うことで、それぞれの感じ方のよさを認め合い、読みを深めることのできる教材である。

(3) 指導にあたって

単元に位置付ける言語活動

興味をもったところを中心に要約して紹介する文章を書き伝え合う。[思考力、判断力、表現力等] C(2)ア

興味をもったことを中心に要約し、紹介する文章を書くために、それぞれの子どもが興味をもったことから紹介したい内容を選択するように促す。そして、興味をもった内容が同じグループで、着目すべき言葉の観点や着目した言葉などについて話し合いながら紹介文を書く活動を設定する。一人一人の感じ方の違いやそれぞれの紹介文や考え方のよさについて気付くことができるように、紹介文が完成した後は、異なる興味の子どもどうしで互いに読み合い、感想を伝え合う場を設定する。

① 手立て1 目的をもって学びに向かう工夫

ア 友だちの考えを知りたいという思いをもつことができるように、初発の感想や学習途中の振り返りをテキストマイニングで分析し、興味・関心が多いものや、自分が気付かなかった視点を提示する。

イ 具体的な内容で学習を振り返ることができるように、振り返りや感想の視点を明確にする。

② 手立て2 言語活動の質を高める工夫

ア 文章の構造や実験の「特徴」「結果」「筆者の考え」などの関係を捉えやすくするために、構造的な板書や掲示物を提示する。

イ それぞれの感じ方の違いや考え方のよさについて気付くことができるように、学習場面に合わせた多様なグループ編成にする。

5 単元の評価規準

| 知識・技能                                            | 思考・判断・表現                                                                                                               | 主体的に学習に取り組む態度                                                     |
|--------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| ① 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(2)ア | ① 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。C(1)オ<br>② 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。C(1)カ | ① 進んで、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習課題に沿って、要約して紹介する文章を書き伝え合おうとしている。 |

6 単元の指導計画（全8時間扱い）

| 次     | 時       | 学習活動                                                                                        | ◆研究に係わる手立て<br>・指導上の留意点                                                                                                                     | 【評価】【評価方法】                                                                                                                         |
|-------|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| とらえよう | 1       | ○ 教科書のリード文や題名を読み、風船で何をしようとしたのかを予想する。<br>○ 「風船でうちゅうへ」を読み、「問いをもとう」「目標」を基に、学習課題を確認し、学習の見通しをもつ。 | ・ 写真も手がかりに、一見不可能に見えることをどのように実現させていったのかと思わせ、筆者の考え方や取り組み方に関心を向けることができるようにする。                                                                 |                                                                                                                                    |
|       | 2       | ○ 興味をもったところがはっきりできるように文章の大体の内容を確かめる。                                                        | ・ 「もっと読もう」を併せて読み、自分が最も興味をもったことを明確にする。<br>◆ 友だちの考えを知りたいという思いをもつことができるように、初発の感想や学習途中の振り返りをテキストマイニングで分析し、興味・関心が多いものや、自分が気付かなかった視点を提示する。（手立て1） |                                                                                                                                    |
| ふかめよう | 3       | ○ 「初め」「中」「終わり」のまとまりを確かめ、「初め」と「終わり」から、興味に沿って大事な言葉や文を書き出す。                                    | ・ 「初め」「終わり」の対応関係を確かめる。<br>◆ 具体的な内容で学習を振り返ることができるように、振り返りや感想の視点を明確にする。（手立て1）<br>◆ 興味の中心が共通するグループ構成にして、交流する。（手立て2）                           |                                                                                                                                    |
|       | 4       | ○ 「中」を読んで、それぞれの風船や装置の特徴と、打ち上げた結果を捉える。                                                       | ・ 「風船の数」「地上とつなぐひもの有無」「カメラの特徴」等の観点を示す。<br>◆ 文章の構造や実験の「特徴」「結果」「筆者の考え」などの関係を捉えやすくするために、構造的な板書や掲示物を提示する。（手立て2）                                 |                                                                                                                                    |
|       | 5       | ○ 「中」を読んで、打ち上げた結果から筆者が考えたことを捉える。<br>○ 「中」から、興味に沿って大事な言葉や文を書き出す。                             | ・ 打ち上げた結果の原因と対策に分けて整理する。<br>・ 教科書「言葉に着目しよう」を参考にしよう促す。                                                                                      |                                                                                                                                    |
|       | 6       | ○ 興味をもったことに沿って、要約する。<br>○ 要約した文章を読み合う。                                                      | ・ ロイロノートを活用して要約文を作成する。<br>・ 友達と読み合い、興味をもったことによって、要約が違うことに気付かせる。                                                                            | 【知識①】打ち上げの結果から分かったことや、筆者が考えたことを正しく捉えていることを確認する。〔記述・発言〕                                                                             |
| まとめよう | 7       | ○ 紹介文の構成を確かめる。<br>○ 興味をもったことに沿って紹介文を書く。                                                     | ・ 教科書「しょうかいする文の例」を参考に示す。<br>・ 前時にまとめた要約を活用し、紹介文を作成する。                                                                                      | 【思考①】自分が興味をもったことに沿って、紹介文を書いているか確認する。〔記述〕                                                                                           |
| ひろげよう | 8<br>本時 | ○ グループで紹介文を読み合い、感想を伝え合う。<br>○ 単元の学習を振り返る。                                                   | ◆ 興味の中心が多様になるようにグループを構成して、交流する。（手立て2）<br>・ ロイロノートを活用して、友だちの紹介文を読むことができるようにする。<br>・ 「ふりかえろう」で単元の学びを振り返らせるとともに、「たいせつ」「いかそう」で身に付けた力を確認させる。    | 【思考②】紹介文を読み合い、それぞれの興味によって、要約や紹介のしかたが違っていることに気付いているか確認する。〔発言・記述〕<br>【態度①】文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、紹介する文章を伝え合おうとしていることを確認する。〔観察・記述〕 |

## 7 本時の指導

### (1) 目標

文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。

### (2) 本時の評価規準

文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。

#### 【思考・判断・表現②】

進んで、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習課題に沿って、要約して紹介する文章を書き伝え合おうとしている。【主体的に学習に取り組む態度①】

| 具体的な子どもの姿                                                                                                                                                                                                                     | Bに至るための支援                                                                                                                                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 紹介文を読み合い、それぞれの興味によって、内容や表現のしかたが違っていることに気付いている。                                                                                                                                                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分と友だちの紹介文と比較する際の視点を絞ることで、比較しやすくする。</li> <li>色分けしたシートを基に書かれている内容を比較するように声掛けをする。</li> <li>いいなと思った言葉を見つけて、その理由を書いてもよいことを助言する。</li> </ul> |
| <b>授業での姿</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分と同じところに興味を持っているのに、要約が少し違うと思いました。こういうまとめ方もあるんだなと思いました。</li> <li>興味をもったことが違うと、紹介の仕方に違いが出てくることが分かりました。</li> <li>〇〇さんの紹介文は、それぞれの実験の結果が整理してまとめられていて、分かりやすいと思いました。</li> </ul> |                                                                                                                                                                               |

### (3) 展開

|           | 学習活動 ・ 子どもの反応                                                                                                                                                                                                 | ◆研究に係わる手立て<br>・ 指導上の留意点 <b>評価</b> [評価方法]                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 導入<br>5分  | 1 前時までの学習を想起する。<br>2 本時の学習課題を確認する。<br>しょうかいする文章を比べて読み、気付いたことを伝え合おう。                                                                                                                                           | ・ あらかじめ、筆者の行動力について、挑戦心と粘り強さについて、実験のユニークさについてなどの興味の中心に沿ったグループ分けをしておく。                                                                                                                                                                                                                                  |
| 展開<br>32分 | 3 興味の中心によって多様なグループに分かれ、前時にまとめた自分の紹介文を発表し、感想を伝え合う。<br>4 全体で発表し、感想を伝え合う。<br>・ 私と興味をもったところは同じだけど、感想がちがっていました。<br>・ 〇〇さんが、失敗を次にいかす筆者の姿勢に興味をもって紹介文を書いたことが伝わりました。<br>・ この紹介文は、実験について詳しく書いてあって、筆者が何をしたのか、よく分かる要約でした。 | ◆自分にはない見方や考え方に触れられるようにするために、興味の中心が多様になるようグループ構成し、交流する。(手立て2)<br>・ それぞれの紹介文を比較するために、ロイロノートを活用して読み合えるようにする。<br>・ 紹介文を読む前に、発表者が何に興味をもったのかを話すことで、聞き手が心構えをもって聞くことができるようにする。<br>・ 感想を伝える際の観点(文章の相違点・要約文のよい点・興味に沿って書かれているか)を示すことで、それらを意識しながら感想を聞き、友達のよさや自分との違いに気付くことができるようにする。<br><b>【思考・判断・表現②】</b> [発言・記述] |
| 終末<br>8分  | 5 単元の学習を振り返る。                                                                                                                                                                                                 | ・ 「ふりかえろう」の3つの観点を基に、この単元の学習でどのような力が付いたのかを振り返る。<br>・ 「この本、読もう」で紹介されている本に触れ、読書の幅を広げる観点を確かめる。<br><b>【主体的に学習に取り組む態度①】</b> [観察・記述]                                                                                                                                                                         |

#### 【期待する振り返りの例】

- 興味をもったことが違うことで、要約で取り上げる言葉や文も違ってくることが分かりました。
- 他の人の感想などを読むときには、その人がどんなことに興味があるかを考えながら読もうと思いました。
- 紹介する文章を書くときには、自分が興味をもったことを中心に言葉を選んで書けばよいことが分かりました。